



日本との違いに触れて

菅野 莉子

私は、多民族国家であるマレーシアで多くのことを学ぶことが出来た。

教育機関を視察した際に、生徒たちが1つのステージを披露してくれた。そこには、お互いの文化を尊重し合い、様々な民族が共存している姿が見られた。その時に私は、大きな衝撃を受けた。また、マレーシアの人々の学びに対する高い意欲を感じることも出来た。それと同時に、日本の学びに対する意欲が低いこと、研究費が少ないこと、充実した施設や支援の取り組みが出来ていないことを感じた。また、同じアジア地域でも教育に差があることを知った。これらのことから私は、今まで「日本以外の世界の子どもたちに平等な教育を支援したい。」と考えていたが、まずは、私自身が日本を知り、日本の教育から変えていくべきだと考えた。それから、マレーシアという国で、日本は本当に愛されているのだなと感じることが出来た。そんな日本を誇りに思うと同時にその期待に応えられるような日本であり続けなければならないなと感じた。私は、日本は他の国から美化されすぎていると考えていて、その高いハードルを超えるのは難しいと思うが、日本に来た外国人の方々がまた、日本に来たいと思えるような国になってほしい。

自国のことを理解しないと、相手国のことを理解できない。マレーシアで学んだこの言葉を胸に私は、日本の教育の現状について学び、改善点を模索したい。そして、日本の教育を自信を持って世界へ発信したい。